

事務事業評価シート(浜田市作成分)～令和7年度実施事業～

■事業の位置づけ（基本事項）			担 当 課 係		水産振興課 水産係
事務事業名	「山陰浜田港」水産物ブランド化推進事業		事業予算費目		
総合計画上の位置付け	大綱	I 活力のある産業を育て雇用をつくるまち	款	06	農林水産業
	施策大綱	I-1 水産業の振興	項	03	水産業費
	基本目標	1 産業振興と企業立地による雇用の創出	目	02	水産業振興費
	主要施策	I-1-4 販路拡大対策	事業	421	「山陰浜田港」水産物ブランド化推進事業

■事務事業の概要（PLAN）

事業の目的	「浜田港四季のお魚」や「どんちっち」などの水産ブランド化の取組を推進することにより、県内随一の漁港である「山陰浜田港」のPRを行う。また、はまだお魚市場のイベントテントを中心に、周辺エリアを巻き込んだ賑わい創出イベントを開催し、「山陰浜田港」で漁獲される水産物について、消費者へ情報発信を行うことで購買意欲を高め、漁獲物の全体的な魚価向上へ繋げる。	事業の内容	・どんちっちブランド推進事業補助金 ・「山陰浜田港」PR補助金 ・どんちっちノドグロ学校給食事業補助金 ・「山陰浜田港」活性化補助金
市民ニーズの把握状況	関連団体等を通じて、「どんちっち」及び「浜田港四季のお魚」等に関する市民ニーズの把握を行った。	市民参加・協働の有無 その内容	どんちっちノドグロ学校給食の提供に併せて、市内小中学校等で出前授業を実施した。（9校：367人） 山陰浜田港の水産物についての理解を深め、購買意欲等を高めるために実施した「お魚検定」では、48名が受検した。 浜田漁港周辺エリアでは、「どんちっちアジ祭り」といった市民協働によるイベントも開催。

■事務事業の業績・推移（DO）

目標と実績			設定した目標			目標/実績	目標/実績	目標	目標	
						R6	R7	R8	R9	
			・新規「どんちっち」ブランド加盟業者数の増加		目標	年間5店増 累計：17店舗	年間5店増 累計：22店舗	年間5店増 累計：27店舗	年間5店増 累計：32店舗	
			設定した理由・背景		実績	2店増 累計：6店舗	3店増 累計：9店舗			
			水産物ブランドの「どんちっち」の認証制度を活用し、品質管理の徹底、官民が一体となったPR活動等を展開し、ブランドの更なる普及と付加価値向上に取り組む。							
			R6年度決算		R7年度最終予算		R8年度予算		市民1人当たりのコスト	
事業費	総事業費		4,176,632		5,113,000		7,093,000		R6	85
	財源内訳	国県支出金							R7	106
		地方債							各年度4月1日時点の人口	
		利用者負担・その他	649,827		760,000		935,000		R6	49,096
		一般財源	3,526,805		4,353,000		6,158,000		R7	48,048

■評価（CHECK）

事業実施・実績に対する意見や評価など	個別に事業所を訪問し、丁寧に制度の説明等を行う中で新規加盟業者の獲得に努めたものの、目標値の達成には至っていない。 近年は「どんちっち」三魚の漁獲量減少により安定供給が難しくなったことや、「どんちっち」ブランド加盟業者の高齢化、後継者不足などの理由により廃業する事業者も増えており、全体の加盟業者数自体も減少傾向に陥っている状況となっている。
--------------------	--

■改善・効率化の方向性（ACTION）

令和8年度執行に向けた工夫点 今後の課題など	新規「どんちっち」ブランドの加盟業者を増やすため、今後は浜田市内にとどまらず、市外でのPR活動も強化し、ブランドの普及と付加価値の向上に取り組んでいく。 また、「浜田港四季のお魚」については、魚種の更新等に伴う新たなPR資材の活用やお魚検定などといった各種取組を連動させることで、市内外での一層の認知度向上と購買意欲の喚起に繋げていく。 この他、令和8年度においては、豊洲市場関係者を本市に招き、水揚げの視察や地元漁業者との意見交換を行うことで、東京圏域におけるブランド等の一層のPRや継続的な取引拡大を図っていく。 なお、販路拡大には、庁内関係部署や関係機関等との連携も不可欠であるため、適切に情報共有等を行いながら、一体的に事業を進めていく必要がある点に留意し、取り組んでいく。
---------------------------	--